



なばりんく

10・11月号



ゆこゆこ親子サロン《百合が丘地域》

まちびと探し

今月の まちびとさん



やまだ さとひさ
山田 哲久 さん
(個人ボランティア)

山田さんは約5年前に学習支援のお手伝いを始めたのをきっかけに、ボランティアをするようになりました。

退職後、お世話になった分、今度は誰かの役にたてればと、ボランティアとして隠街道市や、やなせ宿などで活動をしています。

学習支援ボランティアでは、子ども達と接する事が楽しく、「身内とは違うので、子どもと接するのが難しい時はあるが、自分自身元気がもらえる。」と話してくれました。

また、ボランティアを通して、「世界が広がる。」「人とのつながりができる。」と、とても楽しんで活動されています。

山田さんは「ボランティアだからと言って、勝手気ままは許されない。」と肝に銘じて頑張っているそうです。これからボランティアをしようと思っている方へ「思い悩んでいるより“エイヤー!”と飛び込んでみて、嫌なら辞めればいいし、ボランティアをする人に悪い人はいない。気軽に始めてみて。」とメッセージをくれました。

地域ピックアップ

友・遊 Saturday あそんでだーこ！！ 《つつじが丘地域》

平成29年9月23日(土)つつじが丘小学校で、『友・遊Saturdayあそんでだーこ！！』が開催されました。

前日は雨が降り、思うように準備ができなかったため、関係者の皆さんが早朝からテント張りをされ、予定通りに開催することができました。

開催時間になると、続々と親子連れがやって来て、カローリングやカプラ、車椅子や介護送迎車の体験など、思い思いのコーナーで楽しまれていました。

このイベントは、つつじが丘・春日丘地区社会福祉協議会が「世代間交流」を目的に始められ、今年で16年目となります。この日も、ゴム鉄砲や折り紙のコーナーでは、作り方を教えてもらっている子ども達の真剣なまなざしと、やさしく教えてくれる地域の方々の笑顔が見られました。

食べ物のコーナーでは、みたらし団子や綿菓子、ポップコーンなどが子ども達にふるまわれ、心もおなかも幸せいっぱいになったイベントでした。



サロン活動紹介

名張地域《平尾サロン》

平成29年7月22日(土)名張地域で新たなサロンの取り組みが開始されました。この活動は、毎週月～土曜日午前9時～午後3時に平尾会館を活動拠点に、地域住民が気軽に出かけてふれあい交流を図り、くつろいでもらえる「みんなの居場所づくり」を提供されています。

平尾区の各専門部を中心に運営され、サロンスペースでは談笑に満ち溢れています。

開始2ヶ月が経ち、平尾内外問わずたくさん参加されており、「自宅でテレビを一人で見ているより、平尾サロンへ行けば誰かと話をする事が出来て、さわやかな気持ちになれる」等の声がありました。

またサロンボランティアの方は、「気軽に立ち寄ってもらえるように常に笑顔で接することを心がけている。」「参加者との会話が楽しく、逆に自分達の方が楽しませてもらう」と話されていました。



【開催場所】平尾会館

【開催日時】毎週月～土曜日 9:00～15:00

【参加料】100円/珈琲付

ふれあいフェスティバルを開催！！

ふれあいフェスティバルでは、楽器の演奏や歌、踊りなどのボランティアの活動発表やミニ縁日、焼き芋、ミニ鯛焼、福祉のおみせによるパンや野菜の販売も行います。

名張市ボランティア連絡協議会会長でもあり、ふれあいフェスティバル実行委員長の奥林さんは「みなさんに、ボランティアを知ってもらい、体験しフェスティバルを楽しんでください。」
「みなさん遊びにきてください♪」と話してくれました。

日時：11月25日(土) 10:00~16:00

(※雨天決行)

場所：名張市総合福祉センターふれあい
(名張市丸之内79番地)



ふれあいフェスティバル実行委員長
奥林 久美子 さん

音楽工房



10・11月の
“みんなでいっしょに
唄いませんか”

開催日：10月17日(火)
11月10日(金)

上記いずれも

- ◆時間：10:30~11:30
- ◆会場：名張市総合福祉センター
ふれあいホール
- ◆対象：市内在住の
子育て中の親子から
高齢者まで
※参加費無料・申込不要

介護者サロン“さくら喫茶”

開催日：毎月第3水曜日

- ◆時間：13:30~15:30
- ◆内容：小物づくりと茶話会
- ◆会場：福祉まちづくりセンター
(イオン名張店 3階)
- ◆対象：市内在住で、介護をされている方、介護に関わりのある方
※参加費無料・申込不要

「柿木坂の家」

昭和32年 青木光一さんが歌われ、ヒットした曲です。
青木光一さんは今年91歳を迎え、今も現役で活躍しておられます。

幼い頃に満州に渡り、合唱団に入団し、当時コーラスの指導をしていた米山正夫の指導を受けたのがきっかけで、戦争が終り日本にもどってから米山正夫の推薦でコロムビアに入社しました。

昭和25年、24歳でデビューしましたが、あまりヒット曲に恵まれませんでした。

しかしその後、作曲家の船村徹と出会い、「早く帰ってこ」「柿木坂の家」などがヒットしました。

さて、「柿木坂の家」とは、この歌を作詞した石本美由起が生まれた広島県大竹市の自宅にある柿の木で、坂道は広島県廿日市市(はつかいちし)明石峠の坂だそうです。明石峠から廿日市駅までは、ちょうど三里くらいで、歌詞の中にある「駅から三里～」にも当てはまりますね。

柿も美味しい季節です。秋はもっぱら食欲の秋になってしましますが、皆様はどのように秋を楽しんでおられますか？

歌がお好きな方は、「みんなで唄いませんか」で、生のピアノ伴奏に合わせて楽しく歌ってみませんか？

介護者サロンさくら喫茶のご案内

9月の介護者サロンさくら喫茶は、お茶を飲みながらお話をしました。日頃から楽しんでいる趣味の話や、介護を通して思った事など、日常の会話を楽しみ、ストレス発散をしました。

10月のさくら喫茶では、卵の殻を使った飾りを作る予定です。

見学だけでも大丈夫ですので、物作りが得意な方も得意でない方もぜひお気軽にお越しください。



手づくりレシピ紹介



<材料>

- 水…500g } ①
 寒天粉…4g } (少し温かい湯でよく溶かす)
 ②ざら目…100g
 ③こしあん…380g
 ④くず…5g (水で溶かしておく)

<作り方>

- 1) ①と②を合わせる。
- 2) ③を鍋にいれ 1 を少しずつ加えながら火にかけてゆっくりていねいに混ぜ合わせ、よく練り込んでいく。
- 3) 2 の中に④を加え、さらに混ぜ合わせ練り込んでいく。
- 4) しよもじにとって、上から落としてもったりした感じになったら、流しかんに入れ、冷めたら冷蔵庫に入れておく。
- 5) 冷たくなったら切り分けて召し上がれ!

(レシピ提供・・・常木春枝さん)

～サロンや地域の集まり、ご家庭で作ってみませんか～

おすすめ図書!

桔梗が丘南小学校で読んだ本をご紹介します。

「暑い、暑い」と言っている間に秋の気配を感じるようになりました。皆さんは何から“秋”を感じますか?

- ・14ひきのかぼちゃ (いわむら かずお)
- ・せんたくかあちゃん (さとう わきこ)
- ・おばけのバーバパパ (アネット・チゾン他)
- ・しろいうさぎとくろいうさぎ
(ガス・ウイリアムズ)
- ・うんちっち (ステファニー・ブレイク)
- ・なしうりとせんにな (中国の昔話)
- ・ごきげんなすてご (いとう ひろし)
- ・まほうのあくしゅ
(心があつたかくなる話3年生より)
- ・あしたまほうになあれ
(黒井 健:絵 小野寺 悦子:文)
- ・地雷ではなく花をください
(葉 祥明:絵 柳瀬 房子:文)

おおかみのひみつ

だれもが強いと思っていたオオカミには、実は大きな弱点がありました。どんなりっぱな強い人にみえていても、にが手なものはあるものです。

あなたの近くのあの人にも意外な一面があるものです。

文：木村 裕一

絵：田島 征三

出版社：偕成社



協力：桔梗が丘南小学校図書館ボランティア

(同会は、本の整理、図書室(学校図書館)のディスプレイ、本の読み聞かせ、学校図書館ボランティアに関する研修、地域の絵本展に協力しているボランティアです。)

発行：社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地 名張市総合福祉センターふれあい内
 電話番号 63-1111

福祉まちづくりセンター

ショッピングセンターリバーナ(イオン名張店)3階
 電話番号 62-7388
 ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>
 発行部数：1,360部

《設置場所、協力店舗》

総合福祉センターふれあい、福祉まちづくりセンター、市民情報交流センター、各市民センター、こども支援センターかがやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、近畿大学工業高等専門学校、名張市役所、名張市立病院、名張市立図書館、総合体育館、協力店舗等(吉野豆腐、はなびし庵、なの花薬局夏見店、山平たばこ店、café*mjuk、books アルデ、サロンきずな、やなせ宿、ひまわり書店、大和屋、東整形外科、ワロリヤ本店)ふれあいサロン「ゆこゆこ」、コミュニティプラザナウラ、名張市教育センター

《名張市内の小学校、中学校の一部では、クラス掲示をしていただいています。》

★地域福祉活動情報受付中! 『地域で子どもや高齢者と一緒にこんな活動しています』『サロンでこんな活動しています』『地域でこんな福祉活動している人がいます』などなど・・・情報をお知らせください。社協職員が取材に伺い情報発信していきます!

次回のなばりんくは12月1日発行予定です。